お米や地酒をPRしてきました。埼玉

"埼玉「超」観光立県宣言"

を行い、日本一の日帰り

事業の重点化、効率化を徹底し、最小

の経費で効果的なサービスを提供でき

います。改革の歩みを止めることなく、 を活気づけるための事業も盛り込んで みサミット」の開催をはじめ、羽生市

胆なアイディアの観光振

興を図るそうです。 羽生

ラムで、県ならではの大 しい切り口の観光プログ 観光県を目指すなど、新

るよう取り組んでいきます。

力を入れ、県などと連携

しながら、皆さんととも

に羽生市の魅力アップに

お体を大切にしてください。

2月19日、上田知事を訪ね、羽生の

羽生市まちづくり自治基本条例が や都道府県と対等な関係へと大き 4 月 1 日からスター

が、4月1日から施行されます。 「羽生市まちづくり自治基本条例」 この条例は、「市民が主役のまち

の課題について、どのような役割 権者である「市民」、市民の代表で 組みやルールを定めています。 いくのかという、まちづくりの仕 を担い、どのような方法で決めて ある「市」が、 ある「市議会」、市政の執行機関で づくり」を目指して、羽生市の主 まちづくりや地域

たいまち〟の実現を目指します。 文化の薫り高い、安心して暮らせ より、活力と元気に満ちあふれ、 る、誰もが〝住みたい、住み続け 市では、この条例のスタートに

どうしてこの条例が必要なの?

平成12年の地方分権一括法の施 市町村の位置づけが国

た学生たちの案内で市内を散策しまし

予算をはじめとする議案の審議が行わ

ました。3月23日まで、平成22年度の

2月24日、3月定例市議会が開会し

れています。 来年度の一般会計予算案

て羽生』の贈呈式の後、作成に携わっ

2月5日、まち歩きマップ ぶらっ

努めていこうと思っています。

偶

がれてきた羽生の景観も、

パーセント増となりましたが、他はほ 当分の増額もあり、前年度比は6・9 は163億3600万円で、子ども手

しが不透明ではありますが、「着ぐる ぼ前年度並みの予算です。 景気の見通

いきたいと思います。

ような気がしています。 昔から受け継

私たちが見過ごしがちな景観の素晴ら た。火の見やぐらや路地裏の小道など、

しさを、改めて掘り起こしてもらった

個性あるまちづくりを進めていく 条例が必要とされています。 合ったまちづくりを主体的に進め は自分たちで描き、地域の実情に く変わり、自分たちのまちの将来 ための基本原則として、自治基本 し、自己決定や自己責任に基づく、 ていく権利と責任が拡大しました。 このような時代の変化に対応

続けたいまちづくり」を実現する り」、「誰もが幸せを感じる、住み く豊かで活力に満ちたまちづく ことです。 自治基本条例の目的は、「明る

仕組みを定める条例です まちづくりの基本原則と

づくりや地域課題への対応につい 自治基本条例は、羽生市のまち

> どのような方法で決めていくのか、 などのまちづくりの仕組みやルー て、誰がどのような役割を担い

ちづくりの主役です。 市民のみなさんは、 羽生市のま

情報を知る権利などが規定される れることとなります。 行動できる制度・仕組みが整備さ 価に参画する権利や行政に関する 画などの策定、各事業の実施・評 ことにより、市民が主体者として、 市のまちづくりに関する基本計

ルを定めるものです。 具体的には、まちづくりの基本

原則などを定める条例です。 市の役割と責務、市政運営の基本 原則や市民の権利や責務、議会と

市民がまちづくりの主役です

市自治基本条例策定委員会が平成 名により構成される、(仮称)羽生 表、市議会議員、市職員の合計24 募による委員、市内各種団体の代 20年2月に発足しました。 条例の素案を策定するため、

重ねました。 また、市民の皆さんのご意見を

計17回の委員会を開催し、

検討を

それから約1年4カ月の間、

合

作りによる条例づくりを進めてき 行方法を決定し、まさに市民の手 伺うための市民懇話会を開催する など、委員の提案により会議の進

り上げられました。 やすいものとなるよう心がけ、作 り込みながら、できるだけ分かり に対するまちづくりへの思いを盛 市民の皆さんや各委員の羽生市

市では素案に関するパブリック・ コメントを実施し、提出された意 そして、委員会からの答申の後

> 見を反映し条例案を策定しました。 議会に上程し、特別委員会で継続 審議され、12月定例市議会で可決 この条例案を昨年の9月定例市

条例策定の経過について

条例ができると何が変わるの?

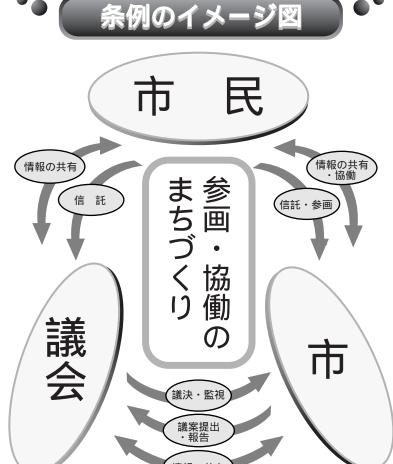
条例を作っただけでは、

することが大切です。 がともに力を合わせて条例を運用 そのためには、市民・議会・市

動するという、市民が主役のまち 発揮し、役割に応じて連携・協力 しながら、自らの責任で決定・行 づくりがこれからスタートします。 それぞれが、お互いの持つ力を そのため、市では が市民参加・

の策定の際には市民が容易に参画 努めるとともに、市の政策や計 を図るため、積極的な情報公開に 市民参画・市民協働』の推進に向 充実に積極的に取り組みます。 け、市民や議会との情報の共有化

多かったようです。 これから、新年度 の差が激しく、体調をくずされる方も あり、さすがに冷え込みました。 寒暖 を迎える大切な時期です。 みなさんも 2月になって市内でも幾日か降雪が 情報の共有



ガン・医療に力を

最新の「切らずに」治すがん治療は 300万前後かかります!

ほけんショップアイ

検索

羽生市西 2-14-22 11563-2558



